

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0301	政策名	子育て環境の充実	施策主管課	こども課	課長名	今井 岳彦
政策の目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます						
施策No	03	施策名	就学前教育の充実	関係課名			
施策の目指す姿	保育園、幼稚園、認定こども園から小学校へスムーズな接続ができています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園・幼稚園園舎の老朽化や入園者数の地域的偏りがあります。</li> <li>・小学校入学後の環境に馴染めない子どもや相手の立場を思いやれない子ども等が増加しています。</li> <li>・生活様式が大きく変化するなかで体を動かす機会や、同年代・地域の人々と交流機会が減少し、就学前児童の体力や運動能力、コミュニケーション能力が低下しています。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的を達成するための研修のあり方について検討するとともに、併せて事業成果の測定手法についても検討する。</li> </ul>
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部・外部を問わず研修の目的に適した人材を講師に招き、目的に沿った研修を実施することができた。はなまき保幼一体研修事業のこれまでの成果指標が「研修会の参加者数」と活動指標となっており、事業の成果を測る指標となっていなかったことから、測定手法を課内で検討し、受講者の研修内容に対する満足度に変更した。(研修会の満足度 97%)</li> </ul>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 保育・教育環境の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な保育・教育環境を保つため、定期的に施設を点検し環境整備を行った。</li> <li>・公立保育所の民営化について、笹間保育園の令和2年度からの民間移行に向けて引継ぎ保育を実施した。</li> <li>・私立幼稚園の運営に補助し、幼児教育の振興に対する支援を行った。</li> </ul>
(2) 就学前教育の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・幼稚園・認定こども園等の園長と小学校長による合同会議を開催し、幼児教育の理解を深め、連携強化を図った。</li> <li>・保育士・幼稚園教諭に対して保幼一体研修を実施し、保育・教育の質の向上に努めた。</li> <li>・保幼小接続期カリキュラム実践等による保幼小の連携を推進した。</li> <li>・公立保育園において運動能力検査を実施した。</li> <li>・ことばの発音に課題がある子どもを早期に発見し、発達の支援を行った。</li> <li>・少人数の保育環境にある5歳児を対象にして、発達に必要な集団活動を体験する機会を設けた。</li> <li>・食育や郷土芸能の伝承など、地域人材を生かした取り組みを行った。</li> </ul>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適應できていくと捉えている学校の割合	保育園・幼稚園から小学校における「保幼小接続期のカリキュラム」を活用し保育・教育の成果を示す指標	出典：こども課 小学校1年生担任アンケート 問：身支度ができる、集団行動ができる、学習のルールがわかるか。	%	目標値		86.00	87.00	88.00		
				実績値		90.00	89.40	89.50		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>成果指標「小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適応できていると捉えている学校の割合」...【達成度a】                      目標値を常に上回っている状況にある。就学前教育プログラムに基づいた子どもの発達や学びの連続性を考慮した研究・研修を実施し、小学校1年生の落ち着きが見られるなど着実に成果を上げている。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>・はなまき保幼一体研修事業について、公立保育園において人事評価（能力評価）で判断した結果、職員間で保育力にばらつきがあることから、保育力の底上げを図る必要がある。また、私立の保育・教育施設にも引き続き呼びかけ、市全体の保育力の向上を図る必要がある。                      ・幼児ことばの教室事業について、障がいの重い子どもの増加により指導が終了した幼児の割合が平成30年度に比較して10ポイント以上低下し、目標値を下回ったことから障がいの重い子どもにも対応していく必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

### 5 施策の総合的な評価

課題
<p>・研修内容に対する満足度は97%と高い水準にあるが、保育園、幼稚園等の職員の資質のさらなる向上と保育力の底上げを目指し、より保育・教育現場で活用できるような研修に見直していく必要がある。                      ・ことばの課題について、障がいが重く指導を継続しなければならない子どもが増加しており、幼児ことばの教室指導員の指導力を向上させ、課題の改善に努める必要がある。</p>
今後の方向性
<p>・県の「保育者育成指標作成と研修体制の構築による幼児教育推進モデル指定研究事業」を活用して県教育委員会からの指導助言をいただき保育者育成指標を作成するとともに、指標に到達するための研修の内容やあり方を構築し、往還型の研修を取り入れるなどより効果的な研修の実施を目指す。                      ・指導が終了しなかった子どもについては、小学校のことばの教室と連携し指導を継続する。また、言語聴覚士等による指導員への研修を実施し指導力の向上を図る。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象	意図	
			直結度		
010	<b>はなまき保幼一体研修事業費</b>	こども課	一致	直結	B
	保育園・幼稚園・認定こども園職員、小学校1年生担任を対象とした研修 (11回開催・延べ受講者762人)			A	
020	<b>幼児ことばの教室事業費</b>	こども課	間接・少数	直結	C
	幼児を対象としたことばの検査及び指導の実施 (ことばの指導実施幼児数70人)			B	
030	<b>幼稚園教育環境充実事業費</b>	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	幼稚園就園奨励補助や私立幼稚園運営費補助、幼児教育無償化による給付費補助			C	
031	<b>幼稚園教育環境充実事業費</b>	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	公立幼稚園の教育環境整備 (花巻幼稚園の遊具改修及び備品購入)			C	
040	<b>保育所保育環境充実事業費</b>	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	公立保育園の施設環境整備 (成島保育園屋根改修、笹間保育園屋根塗装、西公園保育園ほか10園にエアコン設置)			C	